

- 1 会 議 名 議会基本条例推進協議会
- 2 日 時 令和 7 年 3 月 21 日（金）
午後 1 時 30 分から午後 2 時 36 分まで
- 3 場 所 第 2 ・ 第 3 委員会室
- 4 出席議員 議員 15 名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 7 会長あいさつ
- 8 協議事項

（1） 2 月 22 日の議会報告会の反省について

井上会長：参加者は 20 名と聞いている。記録書を配付してあるが、気になることや質問があれば。

水野議員：説明を受けた最初のところでアスタリスクの 2 つ目の議会の応答の方で、「難しいテーマだと認識している」くらいの柔らかい表現にしてはいかがか。「答えられない」まで書く必要があるか気になる。

井上会長：そのような表現に変えさせていただく。

次に P F A S 対策について、他の発言は市民から制止されたということも書いてあるが。

水野議員：文脈が省略してあるので、文脈をご存じの方やその場にいた方がいいが、ちょっと表現としてなくてもいいのかなという気はするがいかがか。

木村議員：実態としてあったのだから書くべき。こういう意見に対して、やっぱり「そうすべきだ」という意見を言おうとしたら制止されたのは事実だから消せない。記録者として絶対必要なものだと思って載せた。

井上会長：いかがか。このままでよろしいか。この後も続きの発言はしているが、P F A S の対策についてお答えしたということで良かったと思う。他に質問がなければこれでよしとするがよろしいか。

（異議なし）

井上会長：記録書の内容についてはこのとおりとする。次に課題として、議会報告会で予算関係の説明をする会をしている、今後、どうしていくかということについて意見等あったら伺いたい。例年は決算の報告を 10 月に行い、2 月に予算について行っている。

木村議員：記録書の 3 ページ 1 番目にある。議会報告会という名称だが意見交換会という内容ということで、どうするかというところがある。議員の名札をここに置いたほうが良いという意見があったと思うので今後やるべきだと思う。5 つの事業を選んでいただいたが、そこに不満がある。体

育館の空調や五条川小学校の統合保育園の問題等、大きな予算の中身があったと思う。そういうもののほうが議論しやすかったのではと思う。この5つの事業を選んだのが、正副議長と財務常任委員会の正副委員長だが、何故なのかと疑問が残った。時間が短い中でやっていくので、全部相談して進めることはできないが、これから決算や予算でこういうテーマを決めていくなら、予算規模の大きいものや、市民に影響が大きいものを選んでいくべきだと思った。説明の中に、会長の説明後、財務正副委員長の説明があったが、鬼頭議員が説明に加わり、進行に疑問があった。

梶谷議員：一般会計にどのような収入や歳出があるのかということで、全体の総額だけ言われたが、地方交付税の説明について、一般的な説明だけではなく、今回は国や県の支出金の46億円の中で石仏公園の整備にこれだけ充てるといような、具体的に岩倉の予算で今年はこのようなものがあるということを入れたほうがよかったと思った。

塚崎議員：市民が声を荒げて木村議員の発言を制止した場面で誰も何も動かなかったことに違和感がある。ああいうことが岩倉市議会で起こったときに誰も何も反応しないのは、発言することが危ないという感覚を持った。あの流れだと、PFASのことをとても心配する市民がいて、それについて「大丈夫だ」という意見が述べられた後に、木村議員の発言に市民の方が圧をかけたと自分は受け取っている。その時に、市民の方の圧力に何も反応がない議会はいかかなものかと思った。この記録書はとてもよいが、この中から財務で質問されて執行機関から回答を頂いているものがあるので、それも併せて公表できるといいと感じている。

井上会長：今、塚崎議員が言われたことと少し違うのは、PFASのことで質問されて、すぐ木村議員が最初に答えて、その後制止されたと思う。少し順番が違うので、それだけ確認させてほしい。

(発言する者あり)

井上会長：私は木村議員の後に発言した覚えがある。制止されたということ。

須藤議員：今の塚崎議員の発言についてだが、誰かが制止するのを待っている。気付いたのであれば自分で制止すればよかったのではないか。

木村議員：自分が最後まで発言すればよかったと思う。書記もやっており発言をやめてしまったのがよくなかったと思う。事実として記録は残すがこの件はこれ以上議論しなくてよいと思う。

大野議員：批判でないが、PFASの問題をもう一度財務委員会で取り上げたが、代表質問でもその前の説明でもしっかり当局から答弁された問題については再度質問することは控えたほうがよいのではないか。

井上会長：これからもまた制止されたり、いろいろな意見が出たりすると思うが、自分の思うことは最後まで述べていく必要がある。それ以上の事態になった場合は、司会者などが考えて、議員がきちんと発言できる状況をつくっていききたい。

木村議員：議員の考えと市民の考えが全く逆の場合は、あの場で論争になる。それは避けるべき。自分はそのときそれ以上言ったらエスカレートすると思ってやめた。そういう判断は微妙だと思うので、それぞれで判断してもらえないかなと思う。

井上会長：ほかの課題についてはよろしいか。大きな課題としては予算のことをこの時期にするのか等いろいろあると思うが、またそれは次回考えていきたい。

木村議員：この時期のタイトなスケジュールの中でやるので、5つの事業についても他の議員が意見を言えないまま始まってしまうということもある。議論をしたあとに報告をするということもあってもいいと少し感じた。そうするとこの議会でどういうことが予算の焦点になったか全員が認識する中で、この報告をしようということで決まっていくかと思うので、そういうことも次回から検討しながら、先にするのか後にするのか課題として残しておいたらどうか。

井上会長：来年度考えていきたい。

報告会に関してはこれでよろしいか。事務局、よろしいか。記録書の中に新聞記者とかそういう記述は今までなかった。今までもみえていた時もあったかもしれないが、あまり意識していなかった。先ほど言われた、答えられない部分の表現を変えるということで、議会報告会の反省は以上で終わらせていただく。

(2) 議会サポーターとの意見交換会について

井上会長：資料に基づき説明。

日比野議員：出席日を12日から9日に変更したい。

井上会長：そのようにする。緊急で何かあれば事務局か私まで連絡してもらいたい。閉会中の議員の活動を紹介してほしいというサポーターからの意見があったため、近頃は閉会中の活動についての資料を作成し報告している。

(3) チーム会議の報告

・市民参加チーム

井上会長：資料に基づき説明。

水野議員：資料の考察部分の文章の表現や表記について指摘。

日比野議員：市民参加チームの資料は市議会の活動としてホームページに載せるのか。

井上会長：載せない。チームの報告資料として作成した。チーム内で確認してもらったと思うが。

水野議員：ホームページに載せるかと思い指摘した。それならば細かいところはこだわらない。

榊谷議員：私も市民参加チームだが、チーム会議を持たないまま、この資料が届いたのは19日で、すぐ返事できなかった。一つ目は議会として興味を持っていただけということで、二つ目は子どもたちにより身近に感じてもらうことができたということで、議会側の感想と子どもや先生側の感想が混ざっている。市民参加チームで早くにチーム会議をして内容をもっとよく揉まないといけなかったと思う。

井上会長：五条っ子フェスは議会が始まってすぐでなかなか集まらなかった。

梅村議員：学校側の主導で行われた授業だったのでやり方としてはこれひとつだと思うものの、五条っ子フェスの受付で、一部の議員は名前が既に記載されており、ほかの議員は来たらフリーで名前を書くという受け入れ側のスタンスであった。せっかく議会でやってみんなで見てもらおうというプランであったのであれば、全議員の名前を予め載せる受付体制を取ってもらえたらありがたかった。

井上会長：それに関しても2月の議会基本条例推進協議会の中で申込用紙を渡して話させていただいたが、そのときにいない方が何名かみえて、レターケースに入れっぱなしになっていた。口頭で伝えたほうがよかったかもしれない。今回の企画については地域の方々の参加が多く、私も地域の一員として参加しており、議会とまちづくりについて勉強するので議員も、ということでお誘いを受けた。一部の議員で地域の者として参加するよりも、議員全員で入った方がいいだろうと思い、6年生の先生や保護者の方々にも了解していただいた。これからほかの学校でもそういう話が出ると思うが、事前の準備が大切だと思う。

大野議員：先生たちの感想と教育委員会や教育長の感想を聞いてきていただいてまとめていただけるとありがたい。

井上会長：五条っ子フェスが1日で、地域とのまとめが3月6日で、そのあと卒業式関係でなかなか時間をとってお話を聞くことができなかった。春休みになったらお話できると思うので聞いてくる。五条川小学校6年生として空き家活用のテーマで要望を出していきたいと聞いている。

・災害対応チーム

塚崎議員：防災士研修講座について案内を配付した。ぜひ防災士資格を取得してほしい。岩倉市議会BCPは2周目の見直しをしており、もう少し時間がかかるが、よりよいものを仕上げようとしている。防災士研修講座についてはこれ以外のものもあるが、直近ではないので掲載していない。ホームページで情報収集してほしい。なお、配付した案内チラシは私が作成したものである。

大野議員：愛知県主催の防災・減災カレッジで防災士の受験資格が得られるような講座を行っている。

・ICTチーム

関戸議員：4月になったら今後の運用ルールを確定させる作業に入る。今後の日程だが、4月に入札を行い、6月に納品予定。7月に研修を開始し、9月定例会からペーパーレスを実施する。

木村議員：歳入歳出決算書、成果報告書、予算書などがデータになる。実際に審査するにあたって、タブレットだけで完結できるのかなという思いがますます強くなった。少なくとも自分が質疑したいところは印刷しないとしてもできないと感じた。市の職員の話を見ると自分の担当箇所は紙で持っていたりする。ペーパーレス化ということであるが、その点も含めて配慮して議論していただきたい。

関戸議員：議員の仕事に関わることであるので、皆さんの声を聞き、できるだけペーパーレス化していく。

梅村副会長：議案の新規主要事業説明資料のほうで支援ツールという書き方だったが、この支援ツールとはどういうものなのか教えて欲しい。

片岡議員：議案を見る以外にもいろいろな機能がある。スケジュール管理、メッセージのやりとり、ファイル共有、共有ファイルの複数人同時編集など。そういったものを含めた機能と考えてもらえばよいと思う。

梅村副会長：タブレット18台のうち3台はどのように使われるのか。

片岡議員：タブレット18台中15台が議員、2台は事務局、1台は予備である。学校で今使っているタブレットが更新により不要となるため、その一部を傍聴者用に議会にいただく話を聞いている。また詳しく詰めていく。

梅村副会長：ロードマップで概略は分かったが、操作説明があるのかとか、データのやり取りはどういうものなのか。

（発言する者あり）

梅村副会長：市民参加チームはこれで終わったのか。それともまだ課題を抱えていて今後取り組むのか、状況は。

井上会長：終わってまとめを出させていだいた。

榊谷議員：市民参加チームでは、今回は五条川小学校6年生と議員の交流で終わっている。江南市や犬山市は高校生との交流が進んでいると聞く。過去に岩倉総合高校と交流をやろうとしたときに学校側があまりよい反応でなかったようだが、学校も変わっているだろうし、その調整も今後していかななくてはいけないのではと思っている。

梅村副会長：いろいろ課題はまだあるということで理解した。会議録を見ると、議会サポーターの要綱の見直しも市民参加チームで行いたいという記述があって、結果的にこれがどうなったかは読み取れないが、そういうことはやられないのか。

塚崎議員：5月で議会人事が変わるが、チームは継続なのか。

大野議員：次の会長が音頭を取って決めていくことになると思う。

井上会長：そのとおり。

塚崎議員：BCPチームは、課題を繰り越さないように今頑張っているの、どうなのかと心配している。

片岡議員：基本的には議会基本条例検証特別委員会があり、そこで委員長が新しい課題を出し、その課題を解決するのが次のチームという流れで毎年やっているはずである。どうしても引き続きということであれば引き続きやらないといけないと思うが、基本的には4月までの一年間でその問題を解決するというのが基本と考えていただくとよいと思う。

塚崎議員：そのとおりで、BCPチームはこの一年間で課題を全部解決できるように動いてきたが、先ほどの話だと市民参加チームは課題が残っているのか。

（発言する者あり）

大野議員：市民参加チームの中から異論を述べるのはやめてほしい。それならばこれまでの間にもっと発言するべきだった。

塚崎議員：サポーターの要綱改正は残った状態か。

井上会長：繰り返しになるが議会基本条例検証特別委員会が予定されているのでそこでまたしっかり意見を出していただきたい。

梅村副会長：ICTの課題は遅れていると思っていて、優先的にやっていくことになると思う。会派の視察内容にも影響してくるので、早めに計画してやっていかないと9月定例会からできるかなと感じている。急いで計画を立てたほうがよい。

（４）今後の予定について

井上会長：資料に基づき説明

(5) その他

井上会長：事務局からサポーターの意見が配付されている。回答が必要なものもある。

事務局：資料に基づき説明

梶谷議員：回答不要となっているが、ライブ配信の機器トラブルについては、午前と午後で配信を分けることにより対応済みであると広報委員会で報告を受けている。

井上会長：各自でよく読んでいただきたい。

9 その他

なし